

農山漁村生活環境維持・産業振興特別委員会会議記録

農山漁村生活環境維持・産業振興特別委員長 元吉 俊博

1 日 時

平成29年9月27日（水） 午前11時48分から
午前11時57分まで

2 場 所

第3委員会室

3 出席した委員の氏名

元吉俊博、二ノ宮健治、井上明夫、鴛海豊、木付親次、油布勝秀、近藤和義、
後藤慎太郎、藤田正道、尾島保彦、吉岡美智子

4 欠席した委員の氏名

なし

5 出席した委員外議員の氏名

なし

6 出席した執行部関係者の職・氏名

なし

7 会議に付した事件の件名

別紙次第のとおり

8 会議の概要及び結果

付託事件の調査計画について協議した。

9 その他必要な事項

なし

10 担当書記

政策調査課政策法務班	主任	中川悠
政策調査課調査広報班	課長補佐（総括）	西村和芳
議事課委員会班	主任	木付浩介

農山漁村生活環境維持・産業振興特別委員会 次第

日時：平成29年9月27日（水）本会議終了後

場所：第3委員会室

1 開 会

2 今後の調査計画について

3 そ の 他

4 閉 会

会議の概要及び結果

元吉委員長 それでは、本委員会の今後の調査計画について、事務局から説明させます。

〔事務局説明〕

元吉委員長 以上、事務局に説明させたとおりお手元に配付の項目・スケジュールで、調査を行いたいと思いますが、御異議ございませんか。

木付委員 付託事件の3番目の調査項目を農業だけに限っているのですが、林業、水産業について調査しないというのは何か理由があるのですか。調査量が多くなるということでしょうか。

事務局 林業、水産業も同様の状況だと思いますので、日程の許す限り調査に入れていきたいと思えます。

木付委員 調査項目は「農林水産業人材の育成・就職促進」としてはどうでしょうか。

事務局 そのようにします。

藤田委員 この計画自体には異論はないのですが、調べる際の視点として、現状、生活機能のうち小売業や、中山間地の農業や漁業などを支えている方は、私の認識では、全て本業の収入だけでは生活できない方が、年金を補助所得としながら支えている気がします。

そういった実態を見れば、UIJターンや人材確保もそのような層をターゲットにしなければいけないのではないかと前から思っているのですが、そういった観点での調査も項目に入れてもらえるとありがたいと思えます。

後藤委員 木付議員の発言に関係するのですが、今、話に聞くと、農業関連も外国からの労働者を採用するところが非常に増えている。ここはよく調べて、どこの国からが多いのかや、問題点等を併せて調査すると良いのではないかと思います。

近藤委員 小さな項目に絞り込んでしまうと、せっかくの特別委員会があまり意味をなさないのでないかと思っています。大分県の一

番弱い部分が農業です。ですので農業全体をどう振興するかという大本のことをこの委員会で議論する必要があります。人材の育成や、農業高校も全て含め、全体的な提言をしないと、小さな項目に絞り込んでしまうとあまり提言する意味もなくなってしまうと思えます。農業人口も耕地も佐賀県より多いにも関わらず、産出額では九州最下位になっています。農家も多いのになぜ最下位になっているのか、そういうこともしっかりやっつけていかなければ、特別委員会の意味がないと考えています。調査項目はこれでいいですが、全体像を踏まえてこの委員会の成果を持ってくるということをやしましょう。

元吉委員長 他に意見ございませんか。

なければ、今の意見を踏まえてまた調整をしていきたいと思えますが、今は代表的な日程だけしか入れてないので、委員会日程を増やすなりして、論議の深みができるような調整をさせていただきたいと思えますのでよろしくお願いいたします。なお細部につきましては委員長に御一任いただいてよろしいでしょうか。

〔「はい」と言う者あり〕

元吉委員長 それでは、そのようにさせていただきます。詳細は後日事務局より連絡いたします。

この際、ほかに何かございませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

元吉委員長 なければ、これをもちまして委員会を終わります。

御苦勞様でした。